

成果の説明書

(氏名) 伊藤宣広	(学部) 経済学部
1 重要事項	
[著書] ・『ケインズ——危機の時代の実践家』(岩波新書、2023年10月) 2015年頃から続けてきたケインズと時事問題の関わりに関する研究成果をまとめ、単著として発表した。	
[研究報告] ・2024.03.02 第78回経済思想研究会・第8回ケインズ学会東北部会(東北大学)で『ケインズ——危機の時代の実践家』について研究報告を行った。	
[書評] ・ケインズに関する書評を1本執筆した(2024年に『経済学史研究』に掲載予定)。	
[その他] ・2023.05.20 経済学史学会全国大会(専修大学)で山本英司氏の報告「カレツキはケインズに対する先行性の主張をなぜ何度も変えたのか」に対する討論者を務めた。 ・教科書プロジェクトに参加した(2023.09.26および2024.03.23に研究会を実施)。 ・2024年度の経済学史学会全国大会のマーシャル・セッションの事前研究会に参加した(2023.09.12および2024.01.26にオンライン開催)。	
2 その他の事項 ・群馬司法書士会綱紀調査委員予備委員を務めた。	
3 次年度以降の計画・抱負 2024年度はこれまでの研究を継続すると同時に、教科書の執筆を進めたい。	